もくじ

・　シンデレラ

シンデレラ

原作（げんさく）：　グリム童話（どうわ）

イラスト：　かわの まほ

編集（へんしゅう）：　YellowBirdProject

3

むかし、あるところに、一人の若い娘がいました。娘は、母と姉と、三人で暮らしていました。母と姉は、家の仕事を、すべてその娘一人に押し付け、自分たちはきれいに着飾り、毎日遊びに出かけていました。

娘は休むひまなく働かされ、服も体も、いつもほこりや灰にまみれて汚れていました。娘はいつしか、灰だらけという意味の『シンデレラ』と呼ばれるようになりました。

ある日、シンデレラの家に、お城から舞踏会の招待状が届きました。母と姉は、大よろこびです。

「シンデレラ、パーティードレスの準備をしてちょうだい！」

「髪飾りも、ネックレスも、靴も、きれいにみがいておくのよ！」

二人はシンデレラに、次々と仕事を言い付けました。

5

シンデレラは、自分もパーティーにいきたいと思いましたが、着ていくドレスも無く、すてきな靴や、アクセサリーの一つも持っていません。シンデレラは、あきらめるしかありませんでした。

そして、パーティーの当日。母と姉は、目一杯おしゃれをして、お城へ出かけていきました。シンデレラは、もちろん留守番です。シンデレラは椅子に腰掛け、一人泣いていました。

するとその時、黄色い光の玉が、窓から部屋に飛び込んできました。光の玉は部屋中を飛び回ったあと、シンデレラが座っていた椅子の背もたれに、ちょこんととまりました。よく見るとそれは、羽を生やした、小さな女性でした。白いドレスを着て、手に杖を持っていました。